



# 社会科学研究部報

令和4年 6月 20日

浜松市教育研究会 社会科学研究部

## 令和4年度 第1回社会科学研究部 研修会

5月25日（水）に可美公園総合センターにて開催されました。可美小学校古山政一郎先生による今年度の研究テーマの概要についての趣旨説明と実践発表が行われました。また、各関係機関からの連絡がありました。

### 1 顧問校長挨拶



気賀小学校 齊藤 昌長 校長

学習指導要領が改訂され、「社会的な見方・考え方」を働かせた授業づくりが重要になっている。そのためには、授業者自身が教材研究の際に学習者となって考え、「見方・考え方」が働く授業になっているか検討することが大切である。そして、子供が教師の教材研究の追体験をすることが、社会科の本質に迫る授業づくりにつながる。日々の授業づくりを大切にし、本質に迫る社会科の授業を展開してほしい。

### 2 本年度の研修テーマの趣旨説明

可美小学校 古山 政一郎 教諭

本年度も昨年度に引き続き、意欲的に社会的事象を追及し、未来を問い続ける児童を育てる社会科学習～社会的事象の「見方・考え方」を働かせる授業づくり～を研修テーマとした。

社会的事象の「見方」とは視点のことを指し、位置や空間の広がり（地理的な視点）、時期や時間の経過（歴史的な視点）、事象や人々の相互関係（関係的な視点）に分かれる。また、社会的な「考え方」とは方法のことを指し、比較・分類・総合・関連付けなどがある。そして社会的な見方・考え方を「働かせる」とは、①地理的な視点②歴史的な視点③関係的な視点、それぞれの視点から社会的事象に着目して「問い」を設定し、比較や分類、関連付け等の思考を経て、社会的事象の様子や仕組みなどを捉えることを指す。

児童が「見方・考え方」を働かせる社会科の授業づくりには、教材化の視点を工夫することが大切である。教材を児童と学習内容を結びつけるための材料であると捉え、地域の人材などを活用し、児童の実感を伴った教材開発をすることが挙げられる。その結果、児童が教材を自分事として捉えることができ、地理的な視点、歴史的な視点、関係的な視点から問いを設定し、多面的・多角的な視点で学習を進めることができる。教材研究の際に、学習指導要領に示された資質・能力をおさえ、児童が自ら「見方・考え方」を働かせることができる教材を設定するとともに、様々な視点からの問いを大切に、社会科の授業づくりを進めていただきたい。



### 3 指導講評

犬居小学校 品川 隆二 校長

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫として、主体的な学びの観点から、視点を意識した発問の工夫と、変化を読み取らせるための資料提示の工夫が挙げられる。それらの工夫によって、児童に「問い」をもたせ、資料を比較させたり、社会的事象に着目させたり、変化に気付かせたりして考えさせられるようになる。児童が資料のどこに着目して何を読み取るのか、調べたことからどのように考えるのかを意識しながら教材研究をすることが重要である。

また、対話的な学び観点からは、多角的に考えるための対話的な学習活動の工夫が挙げられる。個人で調べたり考えたりした後に、児童相互の話合いや討論等の学習活動を充実させることで、自分が気付かなかった視点や多様な考えに触れることができ、様々な疑問が出てくる。児童の気付きや疑問から単元を見通す学習問題を設定させることで、児童は多角的な視点で社会的事象を捉えることができる。そして「見方・考え方」を働かせる学習活動の充実によって、深い学びにつながる。

社会的事象の「見方・考え方」を働かせる授業づくりを心掛けるとともに、児童には今の学びが将来に結びついていることを意識させたい。児童の学びがより豊かになる社会科の授業づくりについて、本研修会を通して学びを深めてほしい。



### 4 各関係機関からの諸連絡

#### ① 三ヶ日農業協同組合

柑橘選果場の見学を募集している。4～10月は平日のみ、11～3月は月・木・金・土曜日に見学を実施している。特に11～3月はみかんが工場の中で選別、梱包されている様子を実際に見ることができるため、社会科の学習に役立ててほしい。



#### ② スズキ歴史館

今年度、小学5年生を対象に社会科見学の募集をしている。実際にスズキ歴史館を見学する2時間のコースに加え、工場と小学校の教室をオンラインでつなぐオンライン社会科見学を新設した。「自動車ができるまで」に加え、働く人たちの工夫や努力について分かりやすく動画で紹介した後、工場担当者と直接質疑応答ができる。学校のニーズに合わせて工場見学を行うことができるので、学習に役立ててほしい。



#### ③ 浜松市上下水道部

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の観点から、大原浄水場の見学受け入れを中止させていただいた。児童の学びを止めないために、浜松市公式ホームページにて浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」を開設した。大原浄水場の中を紹介する動画コンテンツを用意しているため、浄水場見学の代替として授業に活用してほしい。



#### ④ 浜松市 観光シティ・プロモーション課

令和5年の大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の放送決定を受けて、官民一体、オール浜松で観光振興による地域経済の活性化に取り組んでいく。旧元城小学校跡地には大河ドラマ館を建設中で、令和5年1月の開館に向けて準備を進めている。

児童に関わる取り組みとして、児童が徳川家康についてもっと詳しくなったり、家族で徳川家康について話題にする機会を増やしたりするために、社会科自由研究とのタイアップを考えている。詳細は決まり次第連絡をしていく。



(文責：瑞穂小学校 藤崎 卓 伊佐見小学校 藤野 亜弥)